

2015年がん登録件数

記載するグラフは2015年1月から12月に入院・外来を問わず、当センターで「がん」と診断し治療・経過観察を行った件数です。
 (国立がん研究センターによる全国集計が発表されていますが、集計の条件により件数が一致しない場合があります)

次の腫瘍を原発部位*をもとに1腫瘍につき1登録しています。

- ①固形悪性腫瘍（胃がん、乳がんなど）
- ②造血系悪性腫瘍（白血病、悪性リンパ腫など）
- ③上皮内悪性腫瘍（臓器内表面を覆う上皮にとどまるがんで転移がないもの。子宮頸部上皮内がんなど）
- ④脳腫瘍**（悪性・良性・性状不詳***を含む）

*原発部位で登録します（転移した腫瘍の治療を行った場合、登録は原発部位となります。）

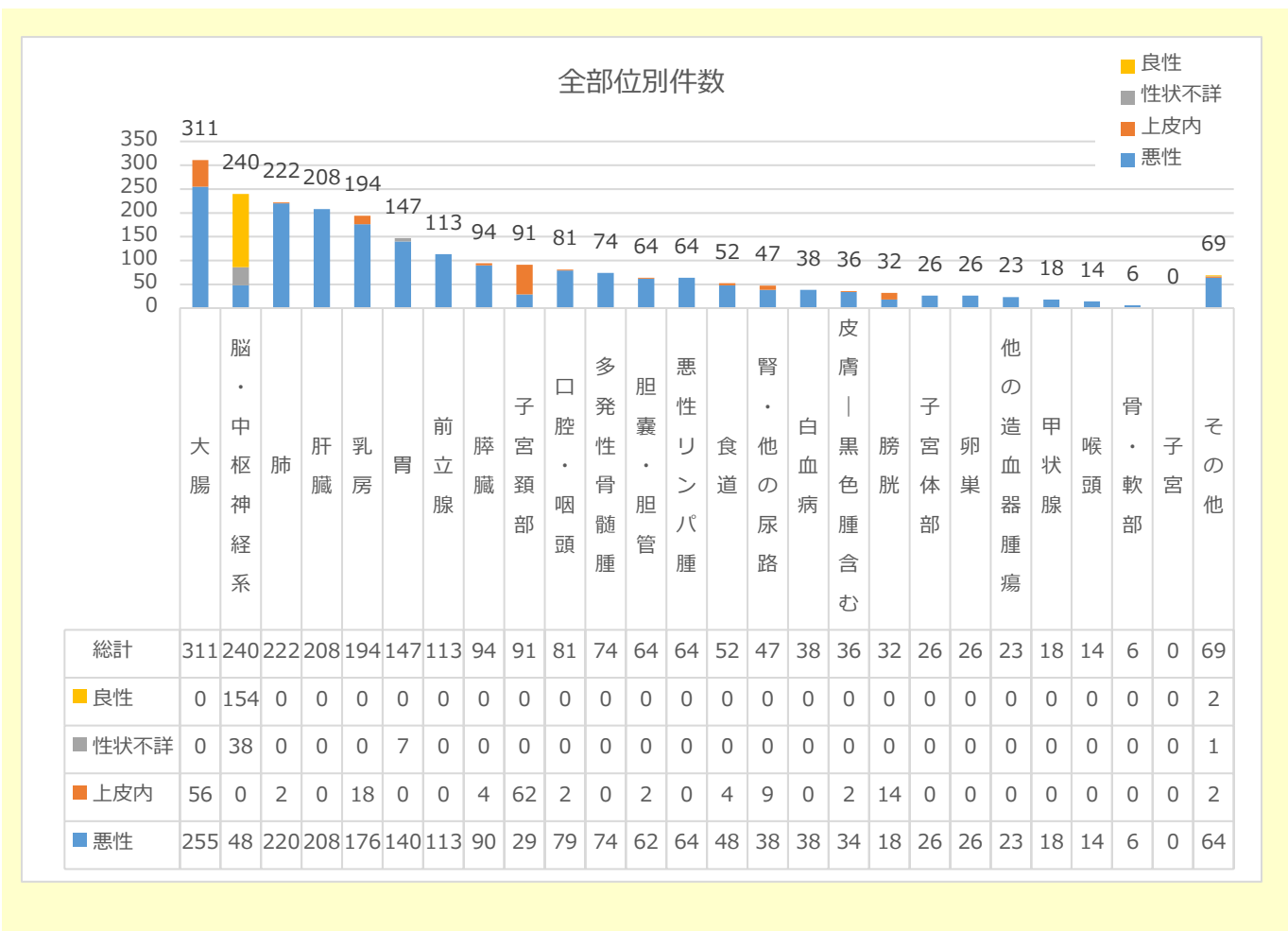
例) 肝臓に転移した大腸がん→部位 = 大腸で登録

**脳腫瘍は良性・性状不詳であっても全身に影響を及ぼすことがあるため、登録対象となります。

***性状不詳とは、国際疾病分類腫瘍学第3版に定められた「良性又は悪性の別不詳（境界悪性、低悪性度、悪性の潜在性不詳）」を指します。

部位別件数

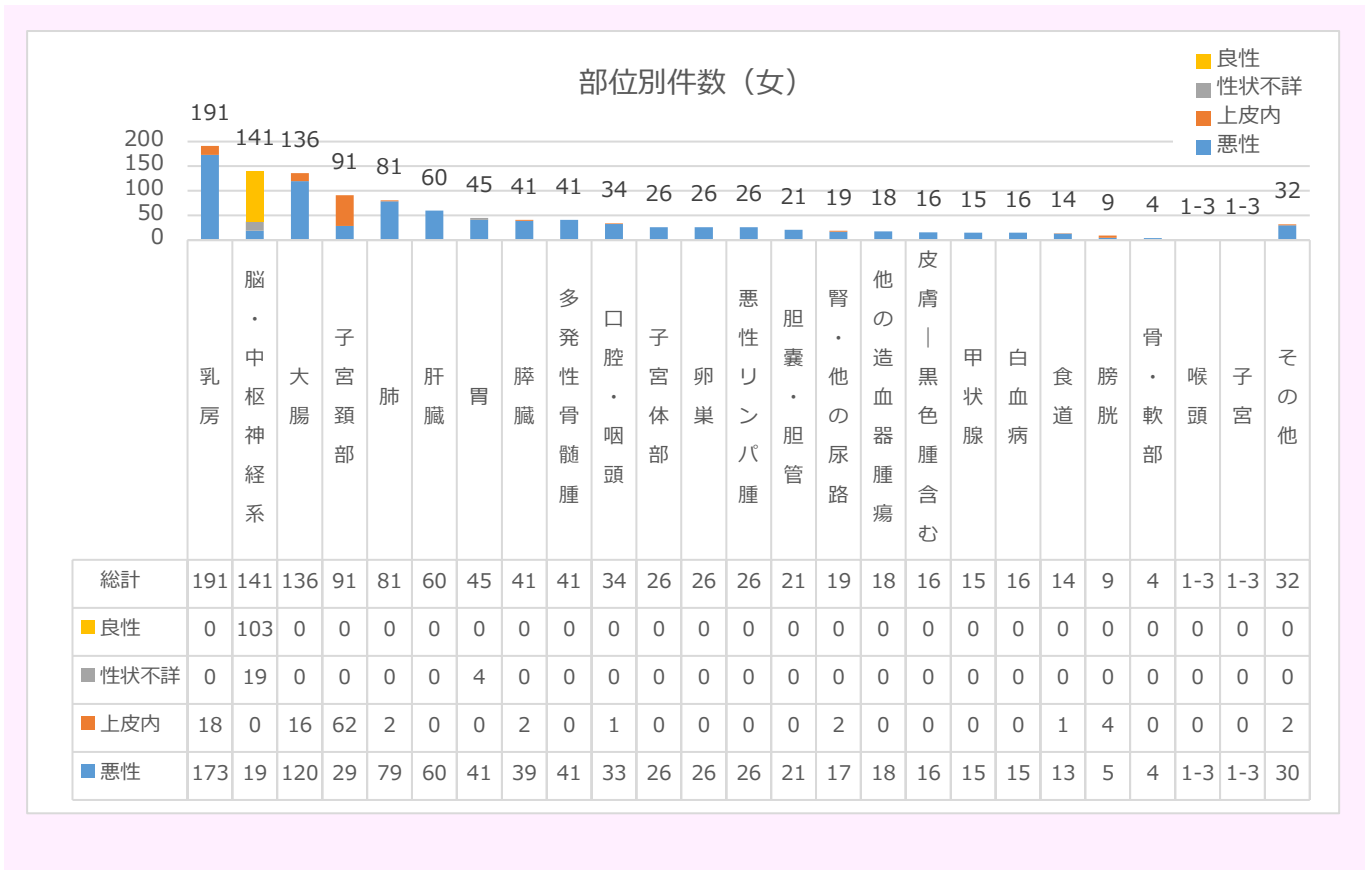
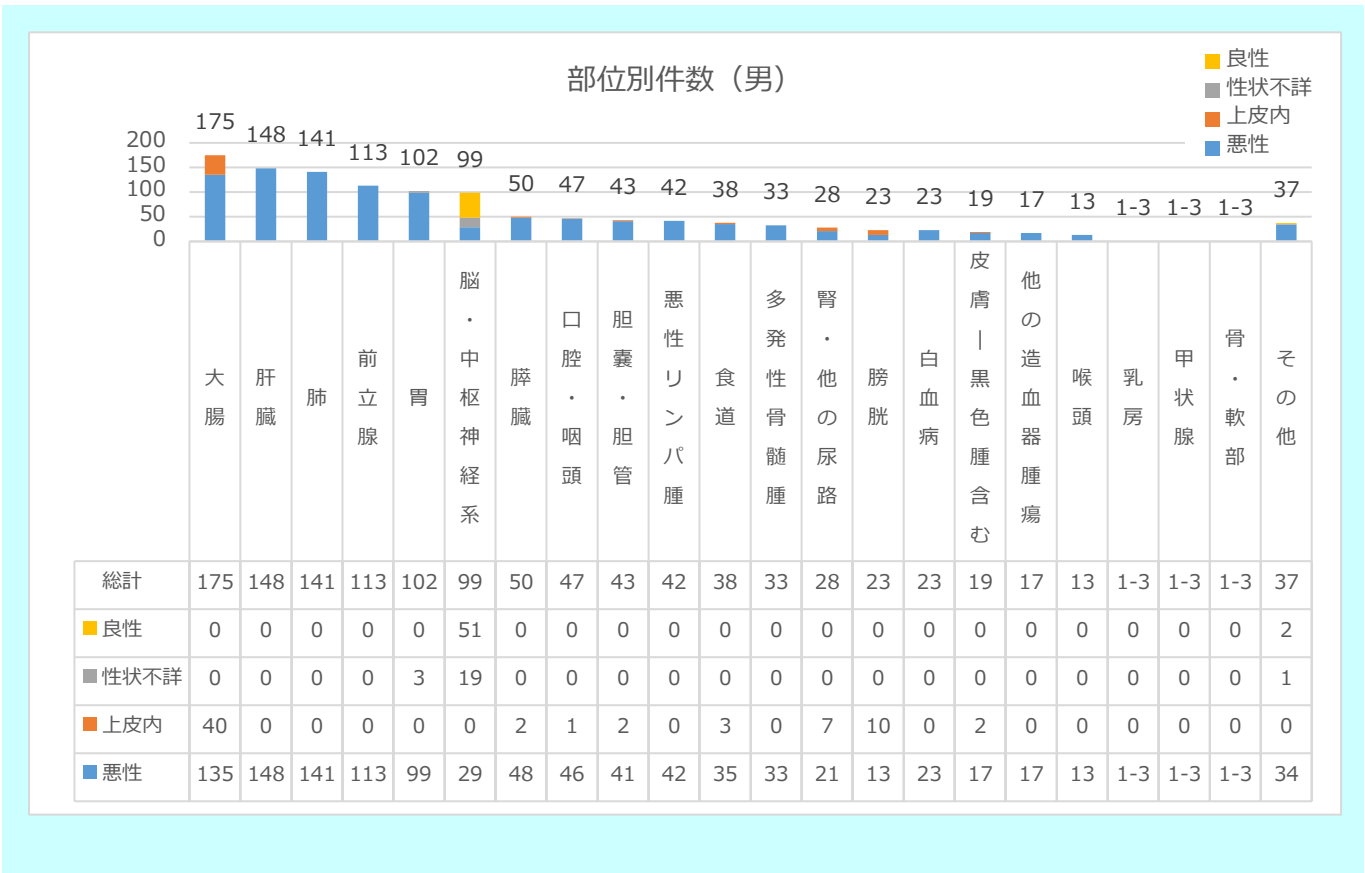
当センターのがん登録件数を部位別に示しています。



当センターでは、国立がん研究センター資料による2015年予測罹患数の多い順（男性 = 前立腺、胃、肺、大腸、肝臓、女性 = 乳房、大腸、肺、胃、子宮）と同様の部位が上位を占めていますが、第2番目に「脳・中枢神経系」が多いことが特徴的であり、良性 + 性状不詳が9.0%、悪性が91.0%となっています。
 また、「その他」には頭頸部、小腸、希少部位などが含まれています。

部位別・男女別件数

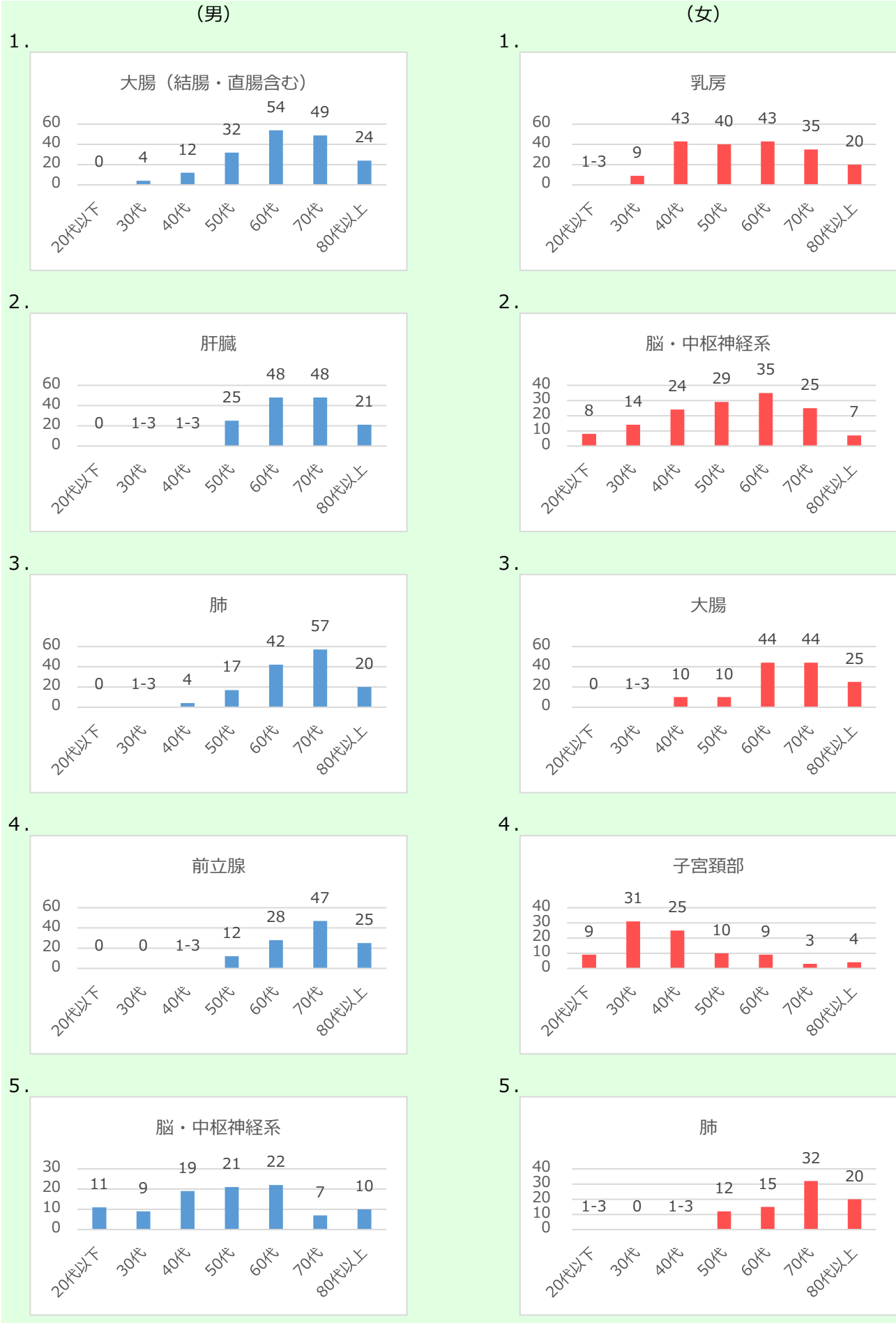
部位別のがん登録件数を男女別に示しています。



男女とも、国立がん研究センター2015年罹患数の多い順（男性＝胃、肺、大腸、前立腺、肝臓
女性＝乳房、大腸、胃、肺、子宮）と同様の部位が上位です。
また当センターの特徴である「脳・中枢神経系」が第2位に入っています。

上位5部位別・男女別・年齢別件数

男女別登録件数の上位5部位について、年齢別に示しています。



男性は「脳・中枢神経系」以外では60代～70代に罹患が多く、女性は「子宮頸部」で30代～40代が多い傾向です。

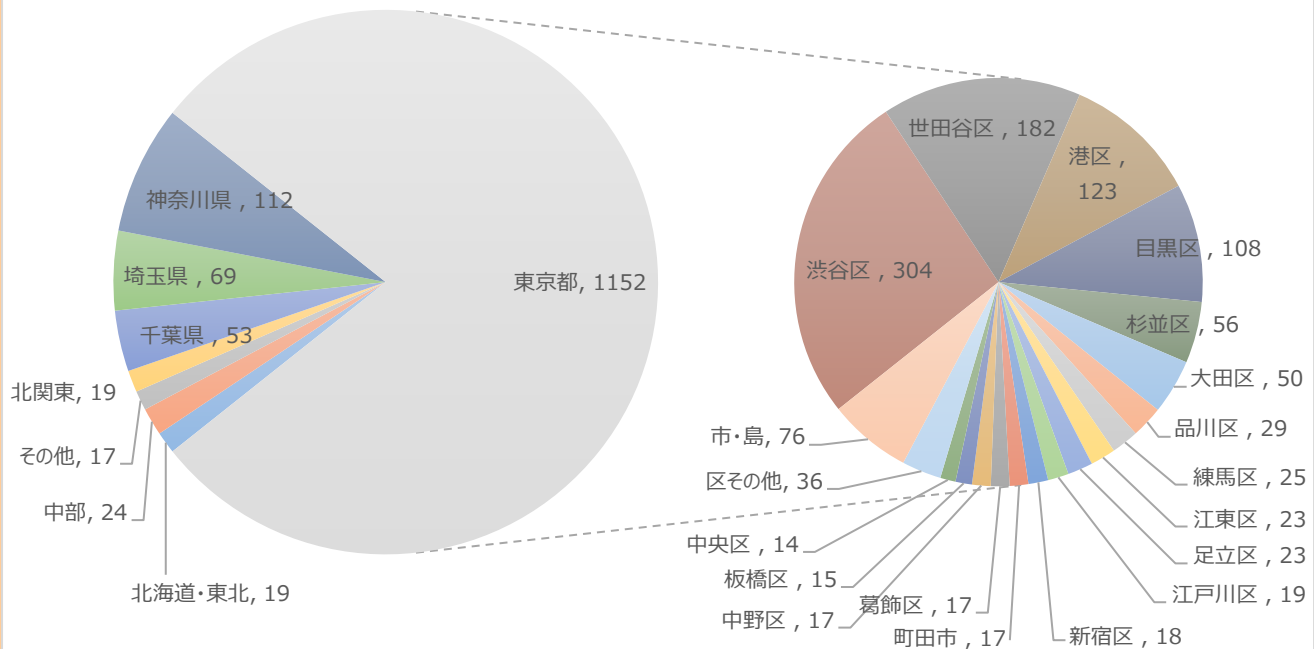
住所地別来院割合

当センターへの住所地別来院割合を、治療開始前*と治療開始後**に分けて示しています。

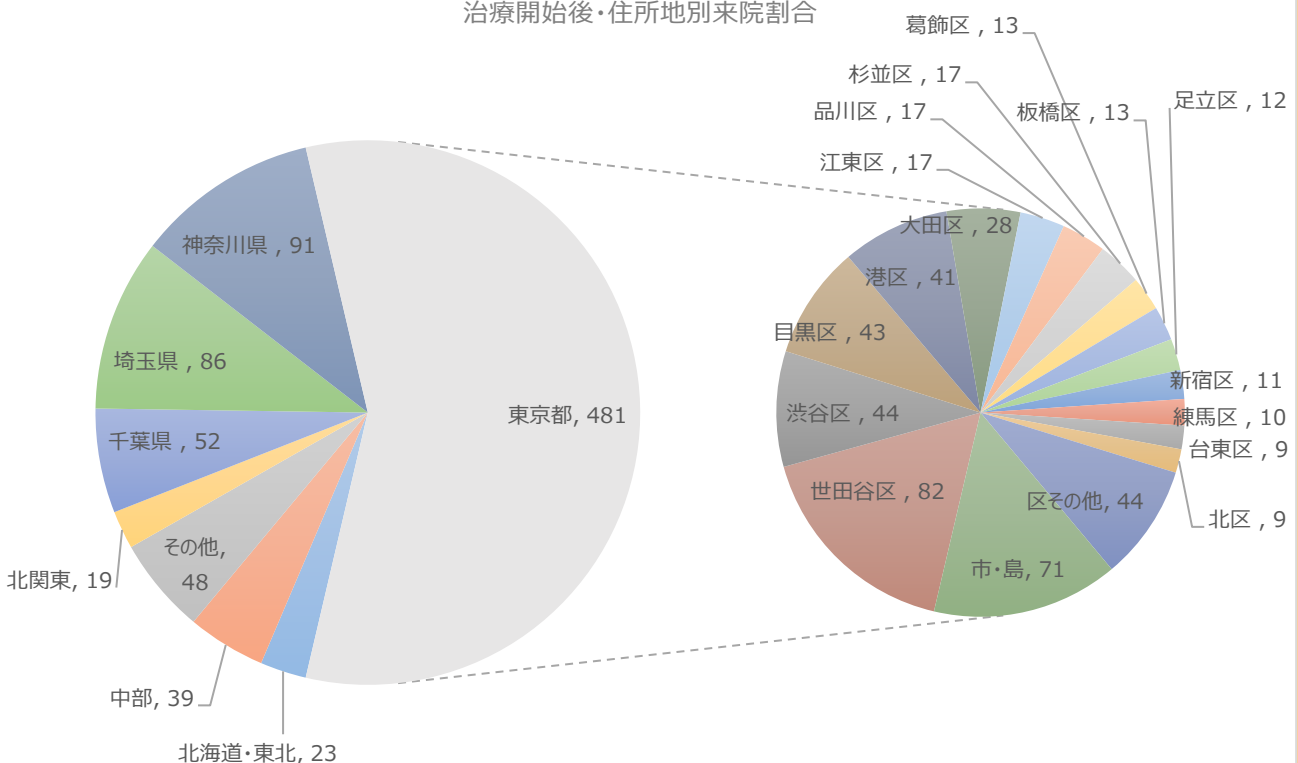
*治療開始前…当センターを受診してから治療・経過観察を開始した場合

**治療開始後…他施設で治療を開始した後に当センターで継続または追加治療を行った場合

治療開始前・住所地別来院割合



治療開始後・住所地別来院割合



治療開始前は東京都内からの来院数が多い（約78%）ですが、治療開始後では全国から来院される患者様が多くいらっしゃいます。